

修学上の合理的配慮・環境整備の例

《肢体不自由学生への支援》

Dさん

- ・下肢に**麻痺**あり、普段車いすで生活
- ・上肢にも**麻痺**あり、**筆記**に時間がかかる
→時間内に板書を写すことや、レポート課題や定期試験に不安
- ・常時ケアの必要あり、授業の教室にもヘルパー同伴のニーズ

Dさんへの合理的配慮の例

- ・座席の配慮(可動式で高さ調節のできる、車いすでも使用しやすい机を配置する等)
- ・代筆者の配置(本人の口述に基づき板書や要点の書き取り、ページめくり等を行う)
- ・コメントペーパーやレポート課題のEメール等による提出許可
- ・定期試験の**時間延長**
- ・介助者の同伴許可